

## 問い合わせ先一覧

以下は、ハザードマップなどの防災情報に関する問い合わせの一覧です。

### ◆ 洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップに関すること

建設部 河川課（市役所8階） ☎028-632-2682

### ◆ 内水ハザードマップに関すること

上下水道局 下水道管理課（上下水道局3階） ☎028-633-3374

### ◆ ため池ハザードマップに関すること

経済部 農業企画課（市役所7階） ☎028-632-2474

### ◆ 「わが家の防災マニュアル」に関すること

### ◆ 災害に関する情報収集や備蓄品の準備に関すること

### ◆ 避難場所・避難情報に関すること

行政経営部 危機管理課（市役所4階） ☎028-632-2052

### ◆ ハザードマップの種類

- 鬼怒川洪水ハザードマップ 平成29年6月
- 姿川・田川・釜川・武子川洪水ハザードマップ 令和3年5月
- 土砂災害ハザードマップ
- ため池ハザードマップ

令和4年3月発行

宇都宮市建設部河川課

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

TEL 028-632-2682

ホームページURL: <https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp>

メールアドレス: [u1609@city.utsunomiya.tochigi.jp](mailto:u1609@city.utsunomiya.tochigi.jp)

# 宇都宮市

# 赤堀川

保存版

令和4年3月発行

# 洪水ハザードマップ



我が家の避難場所		災害時の緊急連絡先	
		※確実に連絡の取れる親類・知人など	
	お名前	連絡先	
自主防災会長			
自治会長			
班長			

宇都宮市

# 洪水災害について

## 洪水災害とは？

### 洪水



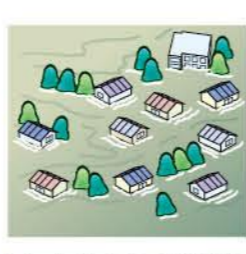
洪水とは、雨などにより川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに中心部しか水が流れていません。これが通常の姿です。ところが、川幅いっぱいにおしよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。

### 氾濫



氾濫とは、雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを「外水氾濫」といいます。川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水氾濫」といいます。

### 水害



水害とは、水によって起こされる災害のことで、外水氾濫も内水氾濫も水害と呼ばれます。ただし、海水による水害の場合は、高潮災害、津波災害といった呼び方をされます。

## 注意報・警報・特別警報

種類	発表の時期
<b>大雨特別警報</b>	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるとき。重大な災害が発生する可能性が高まっているとき。
<b>記録的短時間大雨情報</b>	1時間雨量110mmの猛烈な雨を観測したとき。
<b>大雨警報</b>	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
<b>洪水警報</b>	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
<b>大雨注意報</b>	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
<b>洪水注意報</b>	河川の増水によって、災害が起こるおそれがあるとき。
<b>土砂災害警戒情報</b>	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。

※注意報や警報の発表基準の詳細については気象庁までお問合わせください。

## 雨の強さと降り方(気象庁による)

予報用語 1時間雨量(mm)	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる	傘はまったく役に立たなくなる		

## 避難情報について

避難情報等(警戒レベル)				河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
~~~~~ <警戒レベル4までに避難! > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	氾濫注意情報	---

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

## 避難行動の種類

洪水時には、以下のような洪水予報が国や県、気象庁、市から発表されることがあります。市民の皆さんは安全のために情報の種類に応じて適切な行動をとりましょう。



## 基準水位観測所における水位

河川名	水位観測所名	避難判断水位	氾濫危険水位
田川	東橋観測所	3.00m	3.70m

※上記の基準水位観測所における水位が設定されていない河川については、気象情報や関係機関からの情報等により状況を把握した上で、必要に応じて避難情報を発令します。

# 土砂災害に備えて

**大雨や地震時に備えて、土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう!**

雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報・予報・警報等入手しましょう!!

- テレビラジオ等で気象情報を確認しましょう
- 雨が強くなってきたら、電話やインターネットで確認しましょう

## 宇都宮地方気象台

<https://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/>

栃木県内の警報や注意報、気象情報等の防災情報、天気予報を発表しています。公式ホームページ閲覧以外に、自動音声対応の電話でも情報を確認できます。

177天気予報電話サービス…電話 028-177(自動音声)

自動音声による気象情報……電話 028-638-4444(天気予報、宇都宮と中禅寺湖畔の実況)



## とちぎリアルタイム雨量河川水位観測情報

<https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/>

ホームページで栃木県内の雨量(速報)や河川の状況の情報を入手できるほか、電話で1時間毎の河川水位・雨量情報を確認できます。

宇都宮土木管内…電話 028-643-2451(約3分間。通話料金は利用者負担)



## とちぎ土砂災害警戒情報

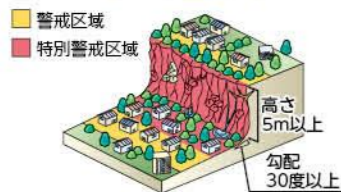
[https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya\\_keikai/](https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_keikai/)

栃木県全域や市町を選択して、警戒情報および大雨警報・注意報を確認できます。



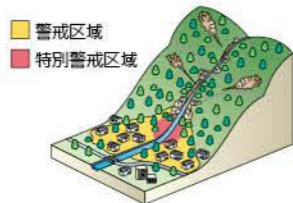
前兆現象を見つけたら直ちに市役所・自治会長などに連絡しましょう。また、危険を感じたら隣近所声を掛け合って自主避難してください。

### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



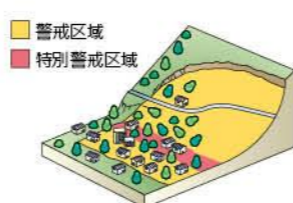
- がけに割れ目が見える
- がけから水がわき出ている
- がけから小石がぱらぱらと落ちてくる

### 土石流



- 急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

### 地すべり



- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が噴出する

## 家族等の緊急連絡先をメモしておきましょう

持病や血液型、常用薬等について書いておくと、緊急のときに役に立ちます。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 適切な避難で 水害・土砂災害から 命を守る

### 基本の考え方

- ① 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。
- ① 安全な場所にある親戚・知人宅なども避難先として検討してください。感染症拡大防止の観点からも重要です。
- ① 危険な状況になる前に安全な場所へ移動してください。

## 土砂災害の警戒区域

### 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

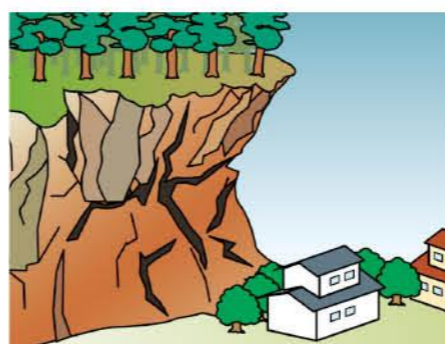
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

- **土石流の指定範囲**
  - ・ 土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度未満になるまでの区域
- **がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)の指定範囲**
  - ・ 傾斜度が30度以上で高さが5メートル以上の区域
  - ・ 急傾斜地の上端から水平距離が10メートル以内の区域
  - ・ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50メートルを超える場合は50メートル)以内の区域

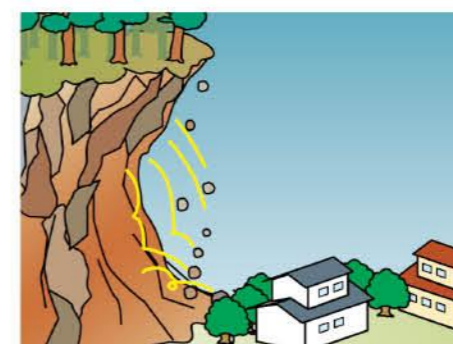
### 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)の内側にあつて、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

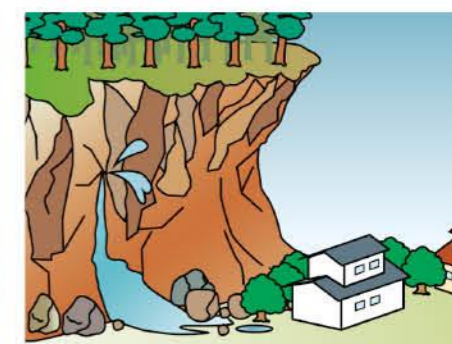
## 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)の前兆現象



- 斜面に亀裂ができる。
- 斜面にはらみ(膨らみ)が見られる。



- 斜面から小石がパラパラと落ち出す。
- 斜面から異常な音、山鳴り、地鳴りが聞こえる。



- 普段澄んでいる湧き水が濁ってきた。水の噴き出しが見られる。
- 湧き水の急激な増加や減少、枯渇が認められる。

**このような状況が確認できたら、直ちに避難してください!**

## 避難時に注意すること

### まずは事前の確認!

土砂災害から避難するためには、事前に危険箇所を確認し、災害の前兆現象を知っておくことが大切です。防災マップを使って確認しておきましょう。

### 寝る場所にも注意!

就寝中に発生する場合があります。日頃から、がけから離れた谷側の2階の部屋に寝るなど土砂災害に備えましょう。

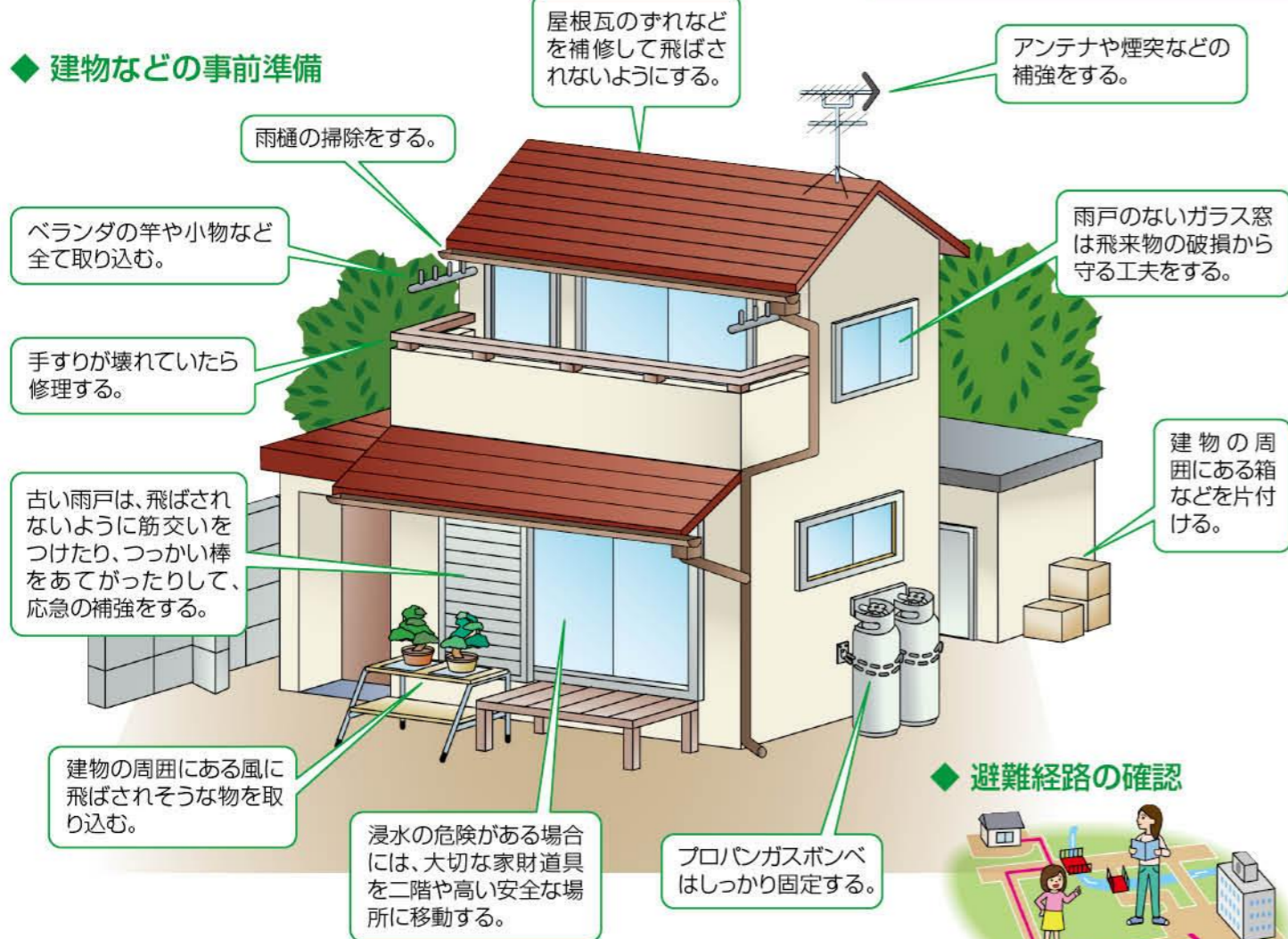
### 直角に逃げる!

がけ崩れの前兆現象を発見したら、斜面からできるだけ速く逃げてみましょう。土石流の場合は、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにします。

# 日頃からの心がけ

## 風水害に備えておくべきこと

### ◆ 建物などの事前準備



台風や集中豪雨で発生する災害はある手度予測できる災害です。情報を入手し、しっかりした準備をしておきましょう。

### ◆ 避難経路の確認



◎避難場所までのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを実際に歩いて確認しておきましょう。

※外出している家族が、交通機関のマヒなどで帰宅できない場合があります。離ればなれになってしまった場合に備え、連絡方法や避難場所・集合場所を日頃から十分話しあっておきましょう。

### ◆ 側溝や雨水ますの清掃



◎側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になるため、台風の接近や大雨が予想される場合には、近所の側溝や雨水ますが詰まっていないか確認し、清掃等を行っておきましょう。

### ◆ 自宅周辺の危険箇所を確認



◎河川やアンダーパス(※)はもちろん、洪水時には濁水により足元が見えなくなるため、マンホールや用水路、側溝など、自宅周辺に潜む危険箇所を事前に把握するとともに、避難路を確認しておきましょう。

※アンダーパス  
主要幹線道路や鉄道などと立体交差する道路で、路面の高さが前後と比べて低くなっている区間。

### 家庭にあるものを利用して浸水防止

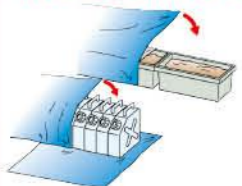
#### 簡易水のうを活用して



ゴミ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水のうができます。

ダンボール等に入れると持ち運びに便利で、設置も簡単です。

#### プランターやポリタンクを活用して



プランターや水を入れたポリタンクを並べてレジャーシートで包み、浸水を防ぎます。

#### 止水板を活用して



長めの板等を利用して水のうやポリタンクと組み合わせ、浸水を防ぎます。

# 避難時の心得

## 避難の基本的な考え方

### 危険が迫る前に早めに避難

雨や風が強いときに外出することは大変危険なため、危険が迫る前に早めの対応をすることが何よりも重要です。自ら積極的に気象情報等を入手することで迫りくる危険を予測して、早めの避難を心がけましょう。

### 「避難」とは「難」を「避ける」こと

安全な場所(洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域など、危険な場所の外)にいる方は、身の危険を感じない限り、避難所等へ行く必要はありません。自宅に留まることも考えてください。また、避難所だけでなく、安全な場所にある親戚や友人、知人宅に避難することも考えておきましょう。

## 避難する時の注意点

### 正確な情報収集と自主的避難を

テレビやラジオ、インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



### 非常持ち出し品等、荷物は必要最低限に

避難するときの荷物は必要最低限とし、特に妊産婦や乳幼児がいる家庭は必要なものをよく確認して、事前に準備しておきましょう。



### 避難する前に

避難する前に、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を止めておきましょう。また、避難所・避難場所の経路を確認し、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



### 速やかに避難しましょう

避難指示が出されたときにはすでに危険が迫っているので、避難の対象区域の方は、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。



### 歩ける深さ男性70cm、女性50cm

歩ける深さは、男性で70cm・女性で50cmまでです。水深が腰までであるようなら高いところで救助を待ちましょう。

### 避難の呼びかけに注意を

市や消防団から呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。



### 動きやすい服装、2人以上での避難

避難するときには、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。サンダル等は禁物です。動きやすい運動靴をはきましょう。

### 徒歩での避難、水面下に注意

水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。傘のような長いものを杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。また、マンホールのふたが外れることがありますので、危険ですから近寄らないでください。

### マンホールに注意

大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないでください。

### 車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合を除きやめましょう。

### 夜間の避難

夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。暗くなる前に避難しましょう。

### 万一、逃げ遅れたら

近くの丈夫な建物の2階以上に避難して救助を待ちましょう。ただし、住宅の2階部分でも場所によっては危ないときもあります。



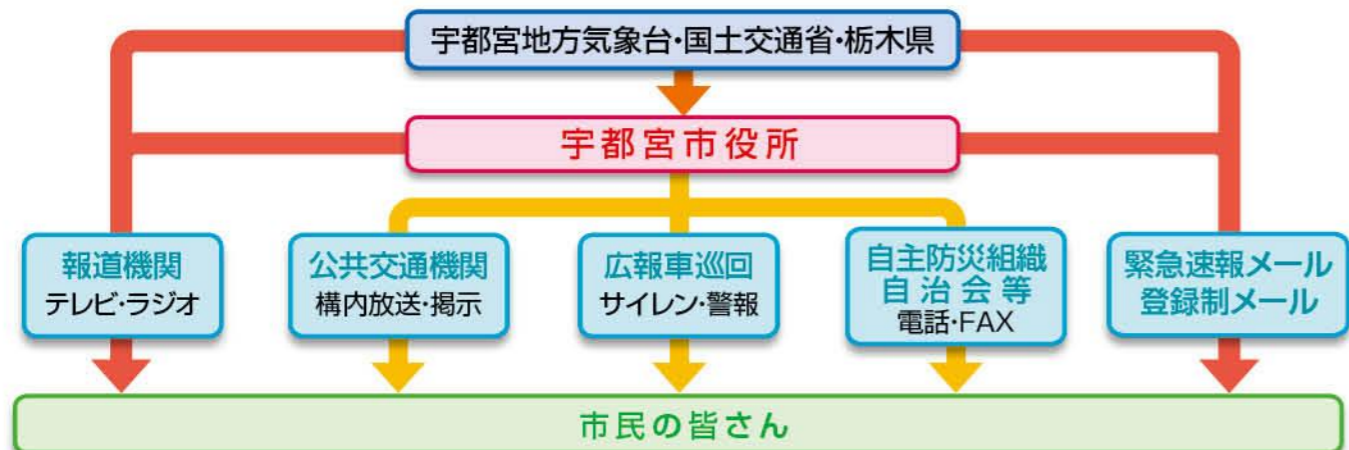
### ペットと同行避難する場合

ペット用品(ペットフードや水、ケージやキャリーバッグ、トイレ用品など)をお持ちの上、首輪と迷子札を着用してください。ペットはケージなどに入れた上で、避難者の居住スペースとは分離して保護されます。

# 避難に関する情報

## 避難情報の伝達経路

災害の情報は次の伝達経路で皆さんに伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネットの情報なども積極的に活用し、情報収集・避難活動に役立てましょう。



→ 気象情報・洪水予報（注意報・警報）の他に、災害時には避難指示も伝達します。

→ 災害情報の伝達経路です。  
→ 災害時の避難指示の伝達経路です。

ラジオ局周波数	
NHK 第1	594kHz
栃木放送(CRT)	1530kHz
RADIO BERRY	76.4MHz
NHK FM栃木	80.3MHz
ミヤラジ	77.3MHz

## インターネットを利用した情報収集

宇都宮地方気象台	<a href="https://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/">https://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/</a>
栃木県庁HP	リアルタイム雨量河川水位観測情報 <a href="https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/">https://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/</a>
国土交通省 防災情報提供センター	リアルタイム雨量河川情報 <a href="https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/">https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/</a> 携帯サイト <a href="http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html">http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html</a>
国土交通省 リアルタイム川の防災情報	<a href="https://www.river.go.jp/">https://www.river.go.jp/</a> 携帯サイト <a href="http://www.i.river.go.jp/">http://www.i.river.go.jp/</a>
下館河川事務所 リアルタイム情報(CCTVなど)	<a href="https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html">https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html</a> 雨量・水位情報(鬼怒川・小貝川)テレフォンサービス 0296(25)2180

## 宇都宮市からの情報伝達について

● 緊急速報メール 市からの災害・避難情報等の緊急性の高い情報を、市内の携帯電話へ一斉に配信するものです。

- 利用配信 …… NTT ドコモや au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話利用者
- 配信範囲 …… 市内の各携帯電話会社通話エリア内
- 配信情報 …… 高齢者等避難、避難指示、土砂災害警戒情報など

特徴① 市内にいて受信が可能  
特徴② 利用料金がかからない  
特徴③ メールアドレスの登録が不要

● 防災情報メール配信（登録制） 本市に関わる防災関連情報を、事前に登録した人にメール配信します。

- 利用情報 …… 気象警報（大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪警報）、指定河川氾濫注意情報、土砂災害警戒情報などの気象情報。本市域における、高齢者等避難、避難指示などの情報。その他、必要な情報など。
- 登録方法 …… 携帯サイトの2次元バーコードリーダー対応機種では、右のバーコードを読み込ませることで接続できます。

<http://utsunomiya.mwjp.jp/mobile/index.cgi?page=642>



# 非常持出品・家庭内備蓄

いつ起こるか分からない災害の被害を最小限にとどめるために、最低限そろえておきたいものを改めて確認し、災害に備えましょう。

## 非常持出品・家庭内備蓄の準備

大きな災害が発生し、電気・ガス・水道などのライフラインが止まったとき、3日間程度は自力で生活できるよう備えをしてください。

非常用持ち出し品			非常用備蓄品	
飲料水	ドライシャンプー(水のいらない)	健康保険証(コピー可)	飲料水は1人あたり1日3リットルを目安に備蓄しましょう。 炊事洗濯トイレなどに使う生活用水を確保するために、風呂の水は抜かずにおき、就寝前には、ポットやかんに水を入れておくようこまめしましょう。	飲料水は1人あたり1日3リットルを目安に備蓄しましょう。 炊事洗濯トイレなどに使う生活用水を確保するために、風呂の水は抜かずにおき、就寝前には、ポットやかんに水を入れておくようこまめしましょう。
非常食	使い捨てカイロ	衣類		
レトルト食品	タオル	下着・靴下		
インスタント食品	万能アウトドアナイフ	軍手(厚手の手袋)		
缶詰(缶切り不要タイプ)	レインコート	ヘルメット	救援物資が届くまでの間、自給自足ができるように、1人3日分の非常食を確保しておきましょう。	カセットコンロ・予備のボンベ ロウソク・マッチ ラップフィルム 簡易食器類 ホイッスル ビニールシート 給水用のポリタンク
高齢者や乳幼児、アレルギー体質の人など、各家庭の事情にあわせたものを準備しておきましょう。	布ガムテープ	乳幼児のいる家庭		
	感染症対策品	ほ乳びん・スプーン		
生活用品・衛生用品	体温計	抱っこひも	母子手帳	
携帯ラジオ(FM/AM)	医療品	高齢者のいる家庭	予備のメガネ	
懐中電灯	救急医薬品セット	予備の入れ歯	要介護者のいる家庭	
予備の電池	持病のある人の常備薬	障害者手帳	予備の補助用具	
ビニール袋	お薬手帳			
ロープ	貴重品			
非常用簡易トイレ	通帳・印鑑			
ウェットティッシュ	現金			

## 緊急時の連絡先

火災・救急 119

事件・事故 110

大雨時の問い合わせ	避難所の開設情報について	災害時コールセンター	632-2222
	※災害時コールセンターが設置されていない場合	行政経営部 危機管理課	632-2052
	道路の相談(冠水など)	建設部 道路保全課	632-2520
	河川の相談(土砂崩れ、中小河川の溢水について)	建設部 河川課	632-2682
	上下水道に関すること	上下水道局	633-3230
	宇都宮市 消防局		625-5500
	宇都宮中央警察署 警備課		623-0110
宇都宮東警察署 警備課		610-0110	
宇都宮南警察署 警備課		653-0110	

※大雨に備えての土のうの提供については都市基盤保全センター(661-0057)、各消防署・分署、各地区市民センターへ

### 「NTT災害伝言ダイヤル」の使い方

詳しくは <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

① 伝言を登録する場合(音声案内があります)

**[171]**をダイヤル → 音声ガイドに従い**[1]**をプッシュ → **028-xxx-xxxx(被災者の電話番号)**

② 伝言を聞く場合(音声案内があります)

**[171]**をダイヤル → 音声ガイドに従い**[2]**をプッシュ → **028-xxx-xxxx(被災者の電話番号)**

# 宇都宮市 赤堀川 洪水ハザードマップ

## 洪水浸水想定区域・浸水リスク想定図(江川)(田川)

この地図は、姿川、田川の洪水浸水想定区域図及び浸水リスク想定図の区域をそれぞれ示した図面です。

- 田川の想定される最大規模の降雨(田川流域の6時間総雨量365mm)
- 赤堀川の想定される最大規模の降雨(赤堀川流域の6時間総雨量449.0mm)

洪水浸水想定区域は、想定される最大規模の降雨に伴う、「想定される浸水の区域と深さ」、「想定される浸水の継続時間」と、家屋倒壊・流出等が想定される「氾濫流の区域」、「河岸の侵食幅」です。

浸水リスク想定図とは、水防法の洪水予報河川及び水位周知河川に指定された河川以外の河川において、想定最大規模降雨に伴う洪水により対象河川が越水、溢水した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

各区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であるため、区域外においても浸水や家屋倒壊等が発生する場合や、区域内の想定が異なる場合があります。

万一の場合に備えて日頃からこの地図を活用し、避難所や避難方法について確認しておきましょう。

浸水深の区分	想定最大規模の浸水深の想定と目安
5.0~10.0m未満	3階建ての建物が完全に水没する程度(10.0m以上)
3.0~5.0m未満	2階の軒下までつかる程度(5.0m)
0.5~3.0m未満	1階の軒下までつかる程度(3.0m)
0.5m未満	1階の床下までつかる程度(0.5m)

**災害時の避難所等の開設について**

**赤い文字の施設**は、風水害の恐れがある場合に優先的に開設

**黒い文字の施設**は、災害や避難の発生状況などにより、必要に応じて開設

凡例 Legend	
● 避難所 Evacuation Shelter	避難場所 Evacuation Site
◎ 市役所・出張所等 City Office / Branch Office etc.	避難方向の目安 Evacuation Direction
🚓 交番・駐在所 Police Box / Residential Police Box	地区境界 Neighborhood Association Boundary
📐 土砂災害警戒区域 Sediment Disaster Special Prone Area	行政界 City Boundary
📐 土砂災害警戒区域 Sediment Disaster Prone Area	

